

白色タイプ

2液形



水系バリアエポ[®]

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆
NSK - 0306056

「水系バリアエポ」は、エポキシ樹脂を主成分とする2液反応硬化形の水系下塗材です。
微弾性機能を付与することにより弹性系仕上材との密着を向上。
旧塗膜のヘアークラックの目止めを目的とし、旧塗膜の形状を生かした改修工事に最適です。

特 長

01 改修工事に最適

ヘアークラックの目止めが可能で、改修用途に適しています。

02 優れた塗膜性能

エポキシ反応硬化形により、耐溶剤性に優れ、リフティングがおこりません。

03 白色タイプ

下地に対するシール効果で仕上材の隠ぺい力を補強します。

04 高い安全性

水系なので環境への負荷が少なく屋内外で安全に使用できます。

用 途

- コンクリート・モルタル面の下塗り
- 有機系仕上塗材全般の下塗り
- 改装工事の下塗り

●標準施工仕様

工 程	材 料・調 合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(hr)	所 要 量
下地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り	水系バリアエポ 基 材：4 kg 硬 化 剂：12 kg 清 水：1～2 L	刷毛 ウールローラー エアレススプレー	1～2	16～168（7日） 工程内4以上 (23 °C)	64～80m ² /16 kg 0.20～0.25 kg/m ²

(注) ①上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。



菊水化学工業株式会社
本社名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル

<http://www.kikusui-chem.co.jp/>

水系バリアエボ

水系エボキシ樹脂
サーフェーサー

白色タイプ

2液形



荷 姿

基 材 NET 4 kg/缶入
硬化剤 NET 12kg/缶入

【施工上の注意事項】

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分行ない、含水率10%以下、pH 10以下で施工してください。
- かびや藻が発生している場合は、塩素系漂白殺菌剤「KSクリーナー」などで殺菌洗浄を行ってください。
- ヤニ、シミが著しい場合は拭き後、下塗りとして水系ヤニ、シミ止め白色下塗材「シミナイト」を使用してヤニ、シミ止めを行った後上塗りを行ってください。
- ALCやコブクリートなどで塗り、段差などがある場合は、セメント系下地調整塗材「BR#15」等で処理してください。
- 無機塗料 特殊下地の塗装及び特殊塗装の場合は、最寄りの弊社営業所にご相談ください。
- 合成皮革・ゴムハッキン、軟質塩化ビニル製品などは、塗膜との接触を避けてください。可塑剤のブリードによる粘着が起きる場合があります。
- 熟成ややすい建材（壁紙モルタル、ALC、窯業系サイディング、発泡ウレタン使用建材など）に塗装する場合は、熟成や水の影響、下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで建材の変形、塗膜の剥離、剥離が生じることがあります。ご採用に当たっては最寄りの営業所にご相談ください。
- 大きな動きが予想される部位の塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合、（高湿度、結露、降雨等）塗膜表面が白化する場合があります。施工場所の気温が5°C以下、湿度85%以上又は結露の発生を考えられるなど、水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。また、低温又は高湿度時は、乾燥が遅くなりますので施工を行わないでください。
- 外部の施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はいたくください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。
- コンクリート下地の旧塗膜の劣化が著しい場合や吸込みの著しい場合は、劣化塗膜を除去した後に、「キクスイ浸透性プライマーE」や、「キクスイSPパワーシーラー」を使用してください。
- 押出成形セメント板、GRC板、ケイ酸カルシウム板などには、下塗りとして「キクスイSPパワーシーラー」や、「キクスイプライマーペ PW」を使用してください。
- 施工時は飛散防止として養生は十分に行なってください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行なってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行なうとして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 塗料は均一にミキサーで攪拌してから使用してください。
- 二液反応硬化型の材料の場合は、主材と硬化剤を指定の比率で混合し、ミキサーで混ぜ合わせて使用してください。特に小分けで使用する場合、計量器を用いて行ってください。混ぜ合わせ後の材料は、可使用時間内に使い切ってください。また、可使用時間は、温度、希釈などの条件により変わりますので、注意してください。
- 材料の希釈量は所定の量になり、所定の所要量を守り事前の試験塗りなどで決定してください。希釈の過多、不足はダメや隠れ不足、仕上がりムラの原因になります。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
- 色、模様の決定に当たっては事前に見本板で確認してください。
- 被塗物の形状、膜厚、塗回数、希釈量などの違いにより実際のつやと異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時の塗離き箇所でも起こる場合があります。特に艶調整品は、被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間等により、実際の艶と若干違って見える場合がありますので、試し塗りの上、本施工してください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ローラー塗りの場合は、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- 傷などで補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを取っておき、同一塗料、同ロット、同一方法で補修してください。
- 他の材料と混合して使用しないでください。
- 水性塗料には動物毛の刷毛は固まり塗装に支障が出ますので化織の刷毛を使用してください。
- 上塗りのローラー塗装において、綿毛のローラーで水系塗料を塗装し泡が発生した場合は、糸毛のローラーを使

注 意 事 項 (水系下塗材)

用してください。

- 使用後は刷毛やローラーなどは十分に洗浄してください。
- 溶剤形の製品を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 希釈した材料を後日使用すると、色相が変わるものがあります。希釈した材料は、その日のうちに使い切るようにしてください。
- 防藻、防カビ効果は、繁殖を抑制するものです。施工部位の形状、構造、環境条件によっては防藻、防カビ効果が十分に發揮されない場合があります。また、すでにカビ、藻が繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理を行なってください。
- 施工部位により、傾斜壁の下端部、水切りの無い部位、窓周りで水切りが不十分な場合、雨掛りの少ない部位などは低汚染性が十分に發揮されない場合があります。
- 施工後、塗膜が乾燥するまでの間に、塗膜表面に長時間水がかかる状態になりますと、艶引け、ひび割れ、変色等が発生する場合があります。また、艶消し品や濃色品では低温時、湿度が高い状況下などでは塗膜に艶が出たり、白濁、塗膜中の成分の流出が起こる場合があります。
- 各シリーリング材は可塑剤の含まれないアクリルドシーリング材を使用してください。また、シリーリング材の上へ直接施工する場合、シリーリング材の種類や材齢によって塗膜が付着しない場合があります。詳しくは最寄りの営業所にご相談ください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することができます。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行なってください。
- 直射日光下や屋外、0°C以下の保管はしないでください。
- 建築用上塗材（JIS A 6909）複層塗材および可とう形改修塗材は、下塗材・主材・上塗材を同一メーカーの指定された製品を使用しないと、JIS規格品とはなりません。

【安全衛生上の注意事項】

- 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート:JMSDS)を参照してください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行ってください。
- 適切な保護眼鏡、防毒、防塵マスクなどを着用してください。
- 小花を発生しない工具を使用してください。
- 屋外または換気の良い場所でのみとし、火気厳禁にしてください。
- 必要な時間以外は、環境への放出を遮げてください。
- 製品の混ぜ合わせは、防腐型ミキサーにて行ってください。また、必ずアースを取ってください。
- 火災時には、酸ガスガス、泡または粉末消火器を使用してください。
- 目にに入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- エボキシ樹脂系の材料は、皮膚にかぶれを引き起こす恐れがあります。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けてください。
- 皮膚についている場合は、多量の水と石鹼で洗ってください。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けてください。
- 粉じん、揮発物等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 使用後保管する際は無希釈の状態でしっかりと密栓して40°C以上の場所では保管しないでください。できるだけ早目に使用してください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
- 保管場所、取り扱い場所とその周辺には、塗装中、乾燥中に、熱、火花、高温体のような発火源を遠ざけ火気厳禁してください。取り扱いは、法令に沿って保管を行い、特に乾燥中は蒸発の面積が広くなるため、短時間に引火性の高い蒸氣が発生します。注意してください。
- 合成樹脂等の電気絶縁性の床で材料の保管や取り扱いをしてください。また、導電靴や帯電防止の服を着用してください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料や塗料の付いた布などを処分する際は、法令に従い産業廃棄物として処理してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水、塗料の付いた布などはそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすことがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

取扱店

菊水化学工業株式会社

本社 名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル
☎ 052-300-2222(代)

仙 台 支 店 ☎ 022-706-5710

東 京 支 店 ☎ 03-3981-2500

名 古 屋 支 店 ☎ 0568-69-5200

関 西 支 店 ☎ 06-7668-5320

福 岡 支 店 ☎ 092-935-4610



●ホームページアドレス <http://www.kikusui-chem.co.jp/>